

### 第39回 大鹿村リニア連絡協議会質疑応答概要

日時：令和8年3月23日 午後7時00分から

場所：大鹿村交流センター

#### 1. 県発注工事について

Q：下樽渡橋の工事について、地元なため道路を通る際は注意深く見て、大変な工事をやっている、これができたらありがたいと思って見えています。

二軒屋の工事について、私は土木、道路を造るとかは素人ですが、二軒屋の写真をみると、松川町から河川の方に降りる道路について舗装がしてあります。大鹿村からも半分くらいの所まで舗装してあります。残っている僅かな所だけ舗装がしてない。

二軒屋の工事に関しては、何度もどうなっているかの質問が出ています。その答えは、いつもどうもなっていません。交渉先があるようで遅々として進まない状況を聞いています。

私たち物事進めるにあたっては、ロードマップを作って作業を進めています。そういうものが私たちに見えない。交渉相手が大変だとは思いますが、ロードマップを作ってもらって、先の見通しを紙に書いて示していただきたい。

いつまでたっても、どうもなってませんでは、毎回質問が出るため考えを切り替えて、目に見える形で、この先の作業を示していただきたい。

県：ご意見は、住民の皆様の気持ちだと思います。私どもも早く住民の皆様に、ご説明できるような状況にしたいということは、常に思ってやっていますが、先ほどお話された通り、関係機関の協議、法規制の問題、様々な問題があり、直ぐにできるできないを含めて申し上げられない状況でいることを非常に心苦しく思っています。

ただ、ご意見の通りまだやっている、まだやっているという状況で何年も置くことについては、何らかご説明できる状況にはしたいと考えています。今いただいたご意見も踏まえて対応したいと思っています。

Q：大変だということは、いろいろ話を聞いてわかります。目に見える形で大変だというのを教えてください。少しは気持ちが和らぐかもしれません。

## 2. 南アルプストンネル工事・伊那山地トンネル工事について

Q：当初、2027年開業という説明を受けており、予定通り進んでいないため確認をさせていただきたい。

青木川工区の工事終了予定年月日、小渋川工区の工事終了予定年月日、仮置き場に置いてある残土の最終搬出完了日、リニア中央新幹線の走行が始まる予定日を教えていただきたい。

JR：伊那山地トンネル青木川工区の工事の見通しですが、2024年の6月に工程に関する説明会を行ったときから、変更はありません。掘削の完了が2027年末となっており、その後、覆工や路盤工があり2029年の夏頃までという予定です。

南アルプストンネル長野工区、今日もご説明しましたが3ヶ所で掘削を行っています。一番最後が除山非常口からの静岡県側の掘削という予定で、掘削が2028年の年冬頃、その後、覆工や路盤工があり、2030年度の中ほどでこちらも見通しは変わっていません。

仮置き場の方は、順次出していきますが、小渋川変電所の予定地でそちらの施工等も兼ね合いがあり、明確にまだ固まっていますが、基本的には掘削が終わって掘削土が出てこなくなったら、一部、運搬の平準化もありますが、大体2029年頃までかかるかと今は考えています。

リニアの開業に関しては一静岡県の静岡工区が、まだトンネルに着手できていない状況で、まだ目途が皆様にお示しできない状況です。

Q：仮にトンネルが全部開通したとして、リニアが実際に走るまでの期間はどれぐらいなのか。試験走行があると思うが。

JR：こちらの方も実は明確になっていない状況です。これはトンネルを掘削した後に、これまでもこの場でご説明しています覆工や路盤を行います。

その後、普通の新幹線というレールのようなもの、ガイドウェイを設置します。さらにそれに付随する電気工事等もあります。

その後に初めて、走行試験ができるようになろうかと思えます。それ自体、具体的な細かい何年何月は決まっていない状況です。

Q：ざっくりと想定するに、2030年頃に大鹿村の中の工事が終わり、仮置き場の残土も搬出が終わり、静岡のトンネルが開通したとして、2040年ぐらいと思っていてよろしいか。

JR：申し訳ございませんが40年なのかどうかどうも含めて、具体的な数字はお示しできないということで、ご勘弁いただきたいと思います。

Q：今の質問に対する答えの中で確かめたいことがあり、一昨年6月に掘削工事延長という説明あったのですが、今、長野工区が8.4kmで3.1km、青木工区が3.6kmで1.7kmですが、これから2、3年の工期で、延長したときの予定通りの進捗状況なのか。

これが相当遅れているということは、次にまた延長となってくるかと思えます。現状、今の状況はこのような具合か。

JR：今のところ粛々と進めているところですが、地質が悪くなると進捗の方は遅くなるということは、2024年の説明会でもご説明した通りです。それまでの理由についてもお話した通りです。

ものすごく早く進んでいるかというのと、ものすごく早く進んでいるわけではありませんが、今着々と進めており、今のところは見通し通りで、何とか頑張りたい、努力したいところです。極端に遅れてはいません。

Q：この数字は予定通りとこちらで理解して、順調にいけば延長は今のところないというような感覚でいる。

Q：先日、観光協会との懇談の中で、工事カレンダーについて連休のときは、非常に観光協会員にとってかきいれどきで、しっかり稼ぎたい時期ということもあり、工事の運搬車両について、差し控えていただきたい具体的な日にちも出ていたと思えます。

これから先検討していくと思いますが、ぜひ、そういうことで進めていただきたいと思えます。

JR：観光協会からのご要望は、先日お話を伺いました。一般的に土木工事は、日曜日のみお休みとこれまでお話をさせていただきましたが、土曜日の運休ができないかというご要望を伺い、これまで施工会社と調整して何とか土曜日の発生土運搬は、運休することで工程調整できたところです。

さらに4月から11月の連休についての祝日の運休というご要望を伺っています。工事する側としては非常にづらいのが正直な所です。

確かに祝日は観光シーズンというのも重々理解、我々できるので検討したいと思えます。なかなか苦しいのが今の現状です。

工事進捗しますので、この時点で、全てお休みできます、お休みできませんということ

を軽々に申し上げられないので、時期が近づいた段階で、そのときの施工状況を鑑みて、全体の工程や、そしてお休みすると平日の工事用車両の台数を、増やさなければいけないため、諸々勘案して検討したいと思います。

ご要望いただいた時期が近づく、できるだけ近い状態で判断したいと思います。その際は、本協議会の場合などでご説明できればと考えています。

Q：先ほどの説明で5月、6月から要対策土を飯田の方に持って行く説明がありました  
が、以前、要対策土を橋桁に使ったときの映像を何かで見たが、運ぶときは大きなパッキンした状態でダンプに乗せて運んで、橋桁に入れるときに中身を出す、その時に作業員の方は要対策土の前にいるのにマスク等していなかったが、それは大丈夫なのか。

JR：要対策土の飯田への運搬のお話と、取り卸しのお話いただきました。一つ橋桁ではなく橋の基礎で、基礎の周りがコンクリート、最低1.5m以上の厚みがあるところに、要対策土を入れています。

今年も、同じようにやるつもりです。大型の土のう、いわゆる小さい土のうではなく、1t分ぐらい入るようなもの。大きな袋に入れて持っていきます。これを下ろす時に、土のうを逆さまにしてひっくり返します。特にひっくり返すのは、コンクリートの下の方でやっているつもりですが、その映像は、もしかすると少し上の方から見えたのかもしれませんが、作業自体はさほど大きな危険はないと考えています。

ちなみに要対策土の基準ですが、いわゆる基準値を少しオーバーする、その基準値というのは、ヒ素で言うと国交省さんの定めですが、基準値が含まれる水を毎日2L、70年間、毎日飲んでも健康に害がないと言われているぐらいの基準値と伺っています。

そういうことも含めて自然由来のもので、イメージされているものがどのようなものか、防護服というのは、どのようなものかわからないですが、原発で着るような防護服は必要ないと考えています。

Q：例えばラジオアイソトープにしても、ルールはルールとしてある以上、それに対して大したことないと言っては駄目。ルールがある以上は、守るという姿勢で考えていただきたい。思っている、言葉では出さないでいただきたい。

JR：失礼いたしました。言い方が皆様のご認識と違うようでしたら、お詫び申し上げます。ちなみに、防護服を着るという基準やルールは、今のところありません。大したことないと聞こえたのなら、私の言い方が悪かったということで、お詫び申し上げます。

Q：私もそう思っていますが、口には決して出さないようにしています。

### 3. その他について

意見なし

### 4. 事務局からの報告について

意見なし